

みやぎSDGs Farm

第26号

2024年6月27日(木)

発行：河北新報社営業局
特別協力：SDGsとうほく

5月29日、「みやぎSDGs塾」第3ターム後期・第1回の講座が河北新報社で実施され、参加者は宮城県内の企業の実践事例をもとに学びを深めました。

企業の地域貢献を考える

今回の「みやぎSDGs塾」標準コースでは、「SDGs塾」の参加企業でもある2社が、SDGsの視点を重視した自社の取り組みについて紹介しました。

地域の企業を仲間にする

段ボールリサイクル業などを展開するSKグループのなかで再生資源卸売などの分野を担うSKトレーディングの笠原亮さんは、同社が運営する「Pocci!」(ポッチ)を紹介しました。

ポッチは、地域の賛同企業などから回収された段ボールの売却益の一部をスポーツ少年団や子ども食



「Pocci!」について解説するSKトレーディングの笠原亮さん

新メンバーで始動!

他業種との交流の機会に

第3ターム後期の初回の講座となった今回の「みやぎSDGs塾」標準コースには、「みやぎSDGsアンバサダー」を目指す新たなメンバーが集まりました。講座の冒頭は「SDGs塾」のアドバイザーを務めるSDGsとうほくの紅邑晶子さんの講話です。紅邑さんは「SDGsは難しいことではなく身近なものである」と知るのが「第一歩」と話し、世界、日本、県内の社会課題の現状について、県内企業の具体的な取り組みの紹介なども交えて解説。参加者に向け、「他業種の仲間との交流を通して、自分の仕事や地域のことを新たな視点で考える機会に



SDGsとうほくの紅邑晶子さん



みやぎSDGs Farm 第3ターム 後期に参加の皆さん

してほしい」と呼びかけました。集まった参加者は、県内でSDGs活動に取り組むタイハク、SKトレーディングの実践紹介(左記)に聞き入った後、3〜4人のグループに分かれ、関心のある社会課題やSDGs目標、自社や個人の取り組みなどについて伝え合いました。参加者からは県内企業の活動や他のメンバーの思いに触れ、今後の「SDGs塾」を通じた交流に期待を高めたようです。

「塾」での出会いが転機に
タイハクは、宮城県内に3工場を展開し、生コンクリートを製造・販売する企業



「みやぎSDGs塾」の成果を交えて話すタイハクの南條さん

堂などの地域団体への支援に回す仕組みで、2022年に利府町からスタートしました。

笠原さんが「SDGs塾」の参加者に「ぜひポッチの賛同企業となり、各社の地域貢献のツールとして活用してほしい」と呼びかけると、会場からは「現在の回収状況のままで地域貢献できるので魅力的な感じが聞かれました。」



参加者の声 身近な課題を知る

社会課題の解決に向けて自分に何ができるのか考えてみたいと思い参加しました。紅邑さんの講話で身近な地域の現状について学び、自分に引きつけて考えることができました。



日立ソリューションズ 東日本 大塚千翔さん

さらに南條さんは「SDGs塾」での出会いをきっかけに新しい角度から業務を見直すことができ、県内自治体との連携も生まれた」と強調。ミキサー車に各地の特産物の写真を貼り付けるなどして地域の魅力をPRする同社のプロジェクトに触れ、「地域に貢献できるだけでなく、ミキサー車の価値を高めることが従業員の働きがいにもつながる」と、その意義を説明しました。

みやぎSDGs塾って?

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラム。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成する「標準コース」と、具体的な事例の発展に向けて議論する「実践コース」の2講座が開講され、2021年から河北新報社が運営しています。

参加はこちらから!

みやぎSDGs Farm

賛同企業 募集中!!



公式HP
[申し込み・問い合わせ]
河北新報社営業局
TEL / 022-211-1318
MAIL / koukoku@po.kahoku.co.jp

実践コース 参加者の情報提供をきっかけにアイデア続々



「みやぎSDGs塾・実践コース」には毎回、多くの「みやぎSDGsアンバサダー」が参加しています

「みやぎSDGs塾」実践コースでは毎回、すでに「標準コース」を修了した「みやぎSDGsアンバサダー」や、県内の企業・自治体等のSDGs関連業務の担当者などが集まり、それぞれの取り組みの情報を共有し、さらなる課題解決に向けてディスカッションしています。今回の「実践コース」では、荒町商店街振興組合の庄子康一さんが、地元企業や学生と連携する商店街の取り組みについて紹介しました。地元の大学生の主導で企画・開催する新たなイベントや、商店街の魅力を学生目線で取材・編集するマップづくりなどの活動が動き出しているそうです。また石巻市で木材生産などを営む山大三上明子さんは、同社が携わって女川町に建設された木の小屋「檜橋キャビン」に「家を建てた人が植林に関われるようなコミュニティがある」といふなどのアイデアが生まれ、活発な議論となりました。

自由に意見交換

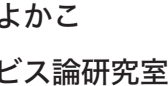
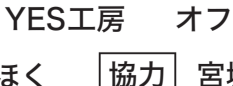
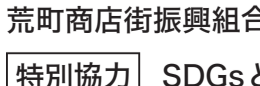
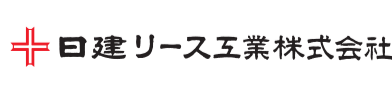
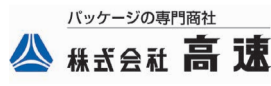
第3ターム参加者(敬称略)

【あすなろ学院】齋藤学【荒町商店街振興組合】庄子康一、伊藤悠香、駿河真樹子【YES工房】大森丈広【エントワデザイン】佐藤寛和【オフィス塩騷】加藤貴伸【環境再生保全機構】【高速】高橋篤【国分東北】佐藤悟、種田友友【スタイルズグループ】千田佳子【ソーニャブルソリューションズ/多賀城工場地帯連絡協議会】大谷哲也【タイハク】長坂孝裕、南條世紀、玉川知樹、加賀玲【竹鶏ファーム】赤淵利恵【蜂屋食品】蜂屋和彦【大日本印刷】阿部巧、小泉一也、矢島迅人、阿部颯、大沼真洋【日建リース工業】内藤健介【日立ソリューションズ東日本】小岩井尚文、大塚千翔【フクダ・アンド・パートナーズ】加藤祐、阿部真美【松島蒲鉾本舗】葛西健太郎【宮城県民共済生活協同組合】草薙聖樹、遠藤早織、長谷朋佳、佐山道大、鈴木良太、長牛麻美【ミライトス】鈴木圭介【山一地所】原田千純、熊谷健太郎【山大】高橋拓宏、本郷友恵、三上明子【WACO CREATE】岩村和哉、岩村優香【個人】千葉よかこ【尚綱学院大学】大沼晃太郎、猪野拓希、森啓輔【宮城大学フードサービス論研究室】齋藤真里奈、曾根咲桜、高屋奏太、永澤美咲、由比一光【オブザーバー】紅邑晶子、高橋好郎、高浦康有

賛同企業・団体・個人

株式会社 日立ソリューションズ東日本

宮城県民共済



特別協力 SDGsとうほく

協力 宮城県 JICA東北 尚綱学院大学SDGsセンター

宮城大学フードサービス論研究室